

埼玉西支部 支部長 千木良 宣行

第10回記念「彩り展」を終えて

銀座で二度目の彩り展の搬入の日が、第六回秩父美術館賞展の最終日で、授賞式の日だった。小高さんは秩父美術館賞を受賞していたが、授賞式に出られず気の毒なことをした。

秩父美術館賞展はあまり知られていないが、審査員は日展の審査員などの錚々たるメンバーで、会長の西さんの掲げる高い理想もあって、地方の私設美術館の公募展なのに、第一回からクリーンな審査をしている。従って受賞作品は高レベルであり、ここで賞を得たのは小高さんの実力で、日頃の努力の成果だと思ふ。これで、毎年美術館主催の新進画家展に出展できる。この快挙が図らずも、第10回記念「彩り展」の序章となった。

実をいうと数年前、いつか同じじやマンネリだ、この際思い切つて中央でやったらどうか」と、支部の小品展を銀座で開催するという、大胆な提案をしたのは小高さんだった。そして二人で銀座を歩いて、竹川画廊を見つけた。

搬送費を切りつめるため、小高さんと私の所と二箇所作品を集めたのだが、私のアトリエに支部員のGさんが作品を持参し、開けてみるとサインが額にかかつて良く見えない。指摘すると、今はパステルがないので、後で修整します」とのこと。二、三日後の暑い日の午後、彼女はやつて来て、何度も何度もやり直してようやく納得できるサインになり、笑顔を見せた。

些細なことだが、絵を舐めてはいけない、安易な妥協はダメ」と、日頃言っていることが支部の気風になりつつあると嬉しかった。

展示して見ると気迫のある作品が多く、改めて衿を正し、自信を持った。技巧的で小ぎれいなものより、作者の思いのある、妥協しない、執念のある、泥臭い、緊迫感の漂う作品の方がいいし、世間でも目のある人は評価してくれる。

初日には中尾会長がおみえになり、熱心に見て下さった。評論家の中野中先生も駆けつけて下さり、それぞれ描き方が異なっていて良い。ここは銀座でも由緒ある画廊です、頑張つて下さい」と、温かい激励をいただいた。

新日美の方々も大勢おいで下さり、ありがとうございます。結局私のF0号の石仏の作品が、

一点売れました。サイズといい、石仏といい、そういう時代なのかなと思います。来年は川越ですが、二年後の平成二十四年十月にはまた銀座で彩り展をやりませう。

京都支部 松田 巧

平成二十二年度京都支部研修会 雑感

六月の中旬、まさに梅雨の最中。さてどこがいだらうか、昨年は福井。神内さんがこここそ絶対だという場所を設定してくれた。遠く京阪神の我々には予想外の目新しいいくつかの場所。参加者の評判もよくすばらしい研修会であった。

今年もそう遠くなく、またあまり近くでもない所。若い頃ドライブなどした場所でも適当なところはないだらうか、いろいろ思いを巡らしてみよう。

二十歳すぎから三十代半ば、度々スキーに行った場所。滋賀県湖西のマキノはどうだらうか。うろ覚えで記憶が不鮮明だがよくないという印象はない。飯村さんにも打診してみる。いいんじゃないとの回答を得る。スキー場であればペンションがいい、信州あたりのペンションならば幾度もいった、それぞれなかなかお洒落だ。全員アーティストだから洒落れたところでなければいけないだらうと勝手に考えてみる。

この場所ですと疑問に思ったことなのだが此の地名はなぜカタカナでマキノなのか。ずつと昔からマキノであった。かなりカリスマ性のある突飛なことを考える指導者がいたのだらう。メタセコイアの並木道、五百本を超えるその並木道の長さは二・四キロに及ぶらしい。初夏の新緑、秋の紅葉、冬の雪が薄く覆った風景はすばらしい眺めである。昭和の昔のこと、このような田舎にこれほどの大規模な並木道を作るといって賛同者がいたのだらうか。費用対効果の面で何人の人が賛成したのだらうか。

広範囲の果樹の栽培地。栗とか柿、葡萄は田舎の栽培作物らしい。今でこそ

珍しくないがブルーベリーなどは思いつかない。

研修のモチーフは梅雨だからあじさい、緑の山々、古民家と題材には事欠かないはずだが心配であった、がしかしそのことは危惧に終わった。草屋根の古民家が散在し、遠くの淡い緑の山々、田畑を縫うように走る幾本かの小川、圧巻は蜩だった。初日の夜、近くの川のほとりでの蜩観賞、あれほどの数の蜩は近年見えていない、小川の草むらから湧き出てくるのである。

これほどの蜩が乱舞できるまでに環境を整えること、此の地のリーダーや地域の人々の環境重視、将来に何か残しておきたいという思い、実に先見性が偲ばれる場所であった。それぞれ会員の作品も趣のあるもので、実に意義のある研修会であった。



カット 松田 巧

スケッチ実施報告と次回予定

事業部 一柳 幸

「秋風の高坂正法寺」 2010-10-22(金)

坂東札所三十三ヶ所のひとつ第十番高坂正法寺は、山寺といってもよい程の静寂な奥深さを湛えた寺でした。かつて賑わったであろう門前町は今も宿泊客など無きような静かな町並みです。古めかしい仁王門は描きたくなる対象でした。「山寺や 色なき風に 音もなく」といった風情の本堂を描き、観世音菩薩に一礼して帰路についた次第。駅前の店で一献、画壇に花が咲いたひとときも 興なるかな でした。

「三宝寺池爽澄」 2010-11-5(金)

天候穏やかなスケッチ日和でした。三宝寺池はスケッチによくポイントが多いので画家がよく描きに來ると聞きます。今日は緑がまだ若干残ってはいるものの秋の風情がなかなか素敵でした。「秋気満つ 水面に映る 空はるか!」といった感じに、浸ったのであります。

「明治神宮外苑いちよう」 2010-11-29(月)

快晴、誠に素晴らしいブルーの空でした。いちようのバックにはこの上ない背景となる空でした。

「天高し 雲ひとつなし いちよう燦」といった、いちようの見事さには全く感動した次第。一筆終えてからの一献、心地よい酔いでした。

「見次公園」2010-12-6(月) 天気晴朗

スケッチ実施致しました。

「谷中」2011-1-10(月) 中止

次回予定

当日七時の天気予報で降水確率 50%を超える場合実施中止にします。

「浅草観音様境内」 2011-2-14(月)

雷門前交番そば 10時集合。

「早春麻布南部坂」 2011-3-28(月)

麻布ドイツ大使館前 10時集合 地下鉄日比谷線広尾下車有栖川公園脇の坂途中。

一支部展予告 一

京都支部小品展

3月22日(火)～27日(日)ギャラリー 雛(問合せ:飯村君江 0774-62-5059)

多摩支部展

4月12日(火)～17日(日)立川アイム(問合せ:田沢博 042-535-2975)

埼玉西支部展

5月10日(火)～15日(日)川越市立美術館(問合せ:千木良宣行 049-243-5235)

埼玉東支部展

5月27日(金)～31日(火)春日部商工センター4Fギャラリー(問合せ:北條三郎 048-734-2073)